

1.化学品及び会社情報

製品名	: 圧送用先行剤RUBURI
会社情報	
会社名	: タケ・サイト株式会社
担当部署	: 建設分野品質保証部
住所	: 静岡県静岡市駿河区敷地1-3-35
電話番号	: 054-237-6717
FAX番号	: 054-237-6189
緊急連絡先番号	: 054-237-6717
推奨用途及び使用上の制限	: 生コンクリート圧送用途に限る

2.危険有害性の要約

GHS分類

物質又は混合物の分類

目に対する重篤な損傷性/眼刺激性

区分2B

絵表示

注意喚起語 警告

危険有害性情報

H320-眼刺激を起こす

注意書き-(安全対策)

- ・取扱後には顔や手など、暴露した皮膚を洗う。

注意書き-(応急処置)

- ・目に入った場合、数分間気をつけて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら取り外す。その後も洗浄を続ける。
- ・目の刺激が続く場合、医師の治療を受けること。

注意書き-(保管)

- ・非該当

注意書き-(廃棄)

- ・非該当

その他

他の危険有害性

情報なし

3.組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
組成及び成分情報

	化学名又は一般名	化学式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS番号
成分1	炭酸カルシウム	CaCO ₃	(1)-122・N/A	471-34-1
成分2	セルロース	C ₆ H ₁₀ O _{5n}	(8)-568	9004-34-6
成分3	エリソルビン酸	C ₆ H ₈ O ₆	9-131・公表	89-65-6
成分4	水分	H ₂ O	対象外	7732-18-5
成分5	顔料	N/A	N/A	N/A
成分6	マグネシウム・アルミニウム・ヒドロキシド・カーボネート・ヒドレート	Mg ₆ Al ₂ (OH) ₁₆ CO ₃ ・ 4H ₂ O	1-17+1-155+1-386	11097-59-9

不純物または安定化添加剤 : 非該当

4.応急処置

吸入した場合

- ・ペースト状であるため吸引は考えられにくいですが、吸引した場合は新鮮な空気のある場所に移すこと。

皮膚に付着した場合

- ・すぐに石鹸と大量の水で洗浄すること。

目に入った場合

- ・目に入った場合、数分間気をつけて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師の手当を受ける必要がある。

飲み込んだ場合

- ・口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。直ちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。

応急処置をする者の保護

- ・個人用保護具を着用すること。

5.火災時の措置

消化剤

- ・現場状況と周囲の環境に適した消化方法を行うこと。

使ってはならない消化剤

- ・利用可能な情報はない。

特有の消化方法

- ・利用可能な情報はない。

火災時の特有危険有害性

- ・熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。

消化を行う者の保護

- ・個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消化装備を着用する必要がある。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項

- ・屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したりガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項

- ・漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込めおよび浄化の方法および機材

- ・飛散した物をスコップ等でかき集めて、密閉できる空容器に回収する。

回収、中和

- ・利用可能な情報はない。

二次災害の防止策

- ・環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7.取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策

- ・酸性物質との接触を避ける。

注意事項

- ・容器を転倒させ落下させ衝撃を与える又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。使用後は容器を密閉する。取扱後は、手をよく洗う。取扱場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

安全取扱注意事項

- ・ 個人用保護具を着用すること。

保管

安全な保管条件

- ・ 保管条件 直射日光を避け、なるべく涼しく湿度が高い場所に密閉して保管する。
- ・ 安全な容器梱包材料 ポリエチレン、ポリプロピレン

混触禁止物質

酸類

8.ばく露防止及び保護措置

設備対策

- ・ 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する

ばく露限界

- ・ この供給された製品は地域の特定取締機関によって発行された職業ばく露限界値のある有害危険物を含有していない。

保護具

- ・ 呼吸器用保護具 防塵マスク
- ・ 手の保護具 保護手袋
- ・ 眼の保護具 保護眼鏡（必要によりゴーグル型または全面保護具眼鏡）
- ・ 皮膚及び身体の保護具 長袖作業衣

適切な衛生対策

- ・ 産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

9.物理的及び化学的性質

形状	
色	ももいろ
性状	ペースト状
臭い	無臭
pH	12
融点・凝固点	825℃
沸点, 初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
蒸発速度	データなし
燃焼性 (固体、ガス)	データなし
燃焼又は爆発範囲	
上限:	データなし
下限:	データなし

蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重・密度	2.73
溶解性	
n-オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度(粘性率)	データなし
動粘度	データなし

10.安定性及び反応性

安定性

- 安定性 推奨保管条件下で安定。
- 反応性 データなし

危険有害反応可能性

- 通常の処理ではなし。

避けるべき条件

- 高温と直射日光と極度の乾燥

混触危険物

- 酸類

危険有害な分解生成物

- 一酸化炭素 (CO) ,二酸化炭素 (CO₂)

11.有害性情報

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入LD50
炭酸カルシウム	6450mg/kg(Rat)	N/A	N/A(LC)
セルロース	5gm/kg(Rat)	2gm/kg(ウサギ)	5800mg/m ³ /4H(Rat)
エリソルビン酸	18g/kg(Rat)	N/A	N/A
水分	N/A	N/A	N/A
顔料	N/A	刺激を生じる恐れ	2000mg/kg(Rat)
マグネシウム・アルミニウム・ハイドロオキシド・カーボネート・ハイドレート	10000mg/kg以上 (マウス)	N/A	N/A

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし

12.環境影響情報

生態毒性	利用可能な情報はない
その他のデータ	データなし
残留性・分解性	利用可能な情報はない
生体蓄積性	利用可能な情報はない
土壌中の移動性	利用可能な情報はない
オゾン層への有害性	利用可能な情報はない

13.廃棄上の注意

残余廃棄物

- ・廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

汚染容器及び包装

- ・廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

14.輸送上の注意

ADR/RID(陸上) 規制されていない。

国連番号 -

品名

国連分類

副次危険性

容器等級

海洋汚染物質 非該当

IMDG(海上) 規制されていない。

国連番号 -

品名	
国連分類	
副次危険性	
容器等級	
海洋汚染物質	非該当
MARPOL73/78やIBCコードに則ったバルクの輸送	N/A
IATA(航空)	規制されていない
国連番号	
品名	
国連分類	
副次危険性	
容器等級	
環境有害物質	非該当

15.適用法令

国際インベントリー

EINECS/ELINCS	収載
TSCA	収載

国内法規

消防法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	非該当
危険物船舶運送及び貯蔵規則	非該当
航空法	非該当
PRTR法	非該当
輸出貿易管理令	非該当

16.その他の情報

引用文献及び参照ホームページ等

NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 <http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html>

IATA危険物規則書

RTECS: Registry of Toxic Effects of Chemical Substances

中央労働災害防止協会 GHSモデルSDS情報

有機合成化学辞典 (社) 有機合成化学協会 講談社サイエンティフィック 化学大辞典 共立出版

繊維学会編『第3版 繊維便覧』P920、丸善、2004

TOLED5 Toxicology Letters.

Day Glo Color Corp (ECO Aurora Pink)SDS

このSDSはJIS Z 7253:2012に準拠しております。記載内容は通常取扱を対象としたものであって他の物質と組み合わせるなど 特殊な取扱いをする場合は使用環境に適した安全対策を実施の上ご利用ください。改訂日における最新の情報に基づいて作成されておりますが、すべての情報を網羅しているものではありませんので新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。また、安全な取扱い等に関する 情報提供を目的としておりますので物性値や危険有害性情報などは製品規格書等とは 異なりいかなる保証をなすものではありません。全ての製品にはまだ知られていない危険性を有する可能性がありますので取扱いには十分ご注意ください。

GHS分類はJIS Z7252(2014)に準拠している。*JIS: 日本工業規格

以上